

Attus and Tafu

— The cultures connected by the threads.

アットウシと太布

糸がつなぐ文化

令和6年度
アイヌ工芸品展
徳島県立博物館特別陳列

アットウシ着物 十勝毎日新聞社

太布作業着上着 徳島県立博物館

2025 1/11_土 - 3/9_日

会場 ▶ 徳島県立博物館1階 企画展示室

開館時間 ▶ 9:30-17:00

休館日 ▶ 月曜日(1/13、2/24[祝日・振替休日]は開館)、1/14、2/25

観覧料 ▶ 無料

※常設展は別途観覧料が必要です。

文化の森総合公園
徳島県立博物館

公式ホームページ <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

主催：徳島県立博物館、公益財団法人アイヌ民族文化財団

後援：国土交通省、北海道教育委員会、公益社団法人北海道アイヌ協会

文化庁・北海道補助事業

〒770-8070
徳島市八万町向寺山
(文化の森総合公園)
TEL:088-668-3636
FAX:088-668-7197



令和6年度 アイヌ工芸品展
徳島県立博物館特別陳列

アットウシと太布

糸がつなぐ文化

アイヌ民族は靴皮(樹木の内皮)から糸をつくり、道具や衣服を製作していました。本展ではそうした糸をつくる過程や、サラニブ(編み袋)やアットウシ(着物)など靴皮を用いた道具・衣服について展示し、現代に至るまで継承される植物利用の文化や製作技術を紹介します。

四国山地では同じく靴皮を素材として製作される阿波太布が継承されてきました。この太布に関する資料をあわせて展示します。ぜひアットウシと太布とを見比べてみてください。

展示を通じて、植物を利用した道具・衣服に関する時空間の広がりー糸がつなぐ文化をお楽しみいただけましたら幸いです。

草木から糸へ

すべては森から始まる。
樹木から靴皮をとりだし、糸を生みだす。



コウノ靴皮(阿波太布製造技法保存伝承会)



オヒョウ靴皮(帯広百年記念館)

糸から布へ

糸を織り、線から面をつくりだす。その工程と用具の紹介。



オヒョウダモと木綿の反物(帯広百年記念館)

太布反物(阿波太布製造技法保存伝承会)

靴皮を使う

糸を編み、暮らしに使う。重さを支え、担う。



太布製角袋(阿波太布製造技法保存伝承会)

サラニブ(帯広百年記念館)

織りなす形象

平面から立体へ。木々からなる布を身にまとう。



アットウシ着物(十勝毎日新聞社)



太布製袴と前掛けを身につけた人物(1901年、徳島県那賀町木頭地区)(東京大学総合研究博物館)

アットウシと太布

徳島と北海道。糸がつなぐふたつの文化を比較する。



太布地機(阿波太布製造技法保存伝承会)



アットウシカラベ(アイヌ民族文化財団)

関連行事

講演① 樹皮衣 一つくる技術と受け継ぐ文化ー

【講師】本田優子氏(札幌大学教授)
【日時】2025年1月12日(日) 13:30~15:00 【会場】博物館3階講座室
【定員】50名(先着順、申し込み不要)

講演② 伝統的工芸品「二風谷アットウシ」「二風谷イタ」について

【講師】山崎幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター長)
【日時】2025年1月26日(日) 13:30~15:00 【会場】博物館3階講座室
【定員】50名(先着順、申し込み不要)

講演③ 地域の歴史とアイヌ資料ー徳島から帯広へ 帯広から徳島へー

【講師】大和田努氏・欠ヶ端和也氏(いずれも帯広百年記念館学芸員)
【日時】2025年2月22日(土) 13:30~15:00 【会場】博物館3階講座室
【定員】50名(先着順、申し込み不要)

体験講座 オヒョウ靴皮のプレスレットづくり

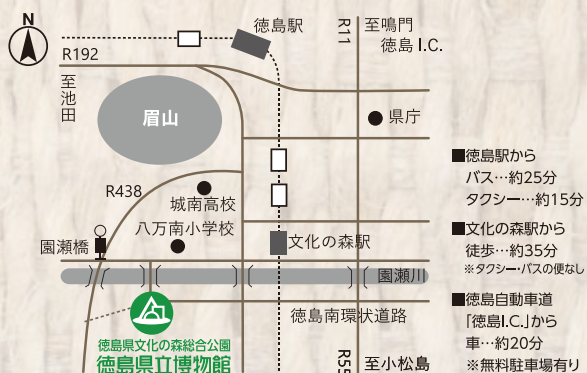
【講師】川上さきよう氏
【日時】2025年3月2日(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00
※①②は同じ内容の行事です。
【会場】博物館3階実習室
【定員】各回15名(申し込み必要)

お申し込み方法は
当館HPから



展示解説

【講師】当館学芸員
【日時】2025年2月2日(日)、3月9日(日)
いずれも13:30~14:30
【会場】博物館1階企画展示室



文化の森総合公園 徳島県立博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山(徳島県文化の森総合公園)
TEL:088-668-3636 FAX:088-668-7197

公式HP <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

